



ピンセット

ぴんせつと

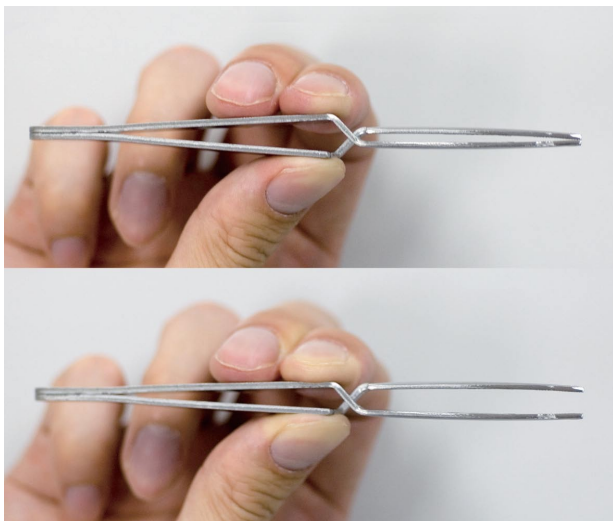


写真1. 逆作動型ピンセット（通常は閉じていて、つかむと先端が開きます。）

概要

ピンセット (pincet: オランダ語) は、指では扱うことができない小さな部品を取り扱う時や、部品に指紋や手の汚れなどを付けたくない時などに利用される道具です。グラフィックデザインやレタリングでは、紙片や色見本を扱う時に利用します。

ピンセットは、用途や目的によってたいへん多くの種類があり、見た目が似たようなものであっても、形状がわずかに異なっていたり、材質が違っていたりします。例えば、精密機器の組み立てなどに使用するピンセットであれば、先端部分が高い精度を持っていて、また非磁性で静電気を帯びにくい、ファインセラミックなどの素材が用いられているものもあります。

美術やデザイン、または趣味の領域で一般的に多く見かけるピンセットだけを取り上げてみても、多くのバリエーションがありますから、自分の目的に合った使いやすいものを見つけることができます。例えば、ボディー全体が真っ直ぐなものや、先端がゆるやかにカーブしているものは、素材を扱う時に使いやすい角度になるほうを選ぶと良いでしょう。先端が平型のは、写真や色見本、切手など、薄くて傷つけやすい素材を扱うのに便利です。先端が針のように細く尖（とが）ったものを使えば、小さなピンを掴（つか）むといった細かい作業をする際に、視界を遮られることが少なく済みます。フッ素加工が施されているものは、糊などの汚れが付きにくいので、テープやシール類を扱うのに便利です。また、竹製のピンセットは、静電気を帯びないため、工芸では金箔を挟む時などに使用されています。この他にも、柄が途中で交差しているため、通常は閉じていて掴むと先端が開くという、逆作動型のピンセットがあります。掴んでいる時間のほうが長いような場合には、逆作動型が便利といえます。

ピンセットを使用する際は、中には先端が非常に鋭いものもありますから、取り扱いには充分注意しましょう。ピンセットは、画材店や文房具店などで購入できます。

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A
B
C
D
E
F
G
H
I
J
K
L
M
N
O
P
Q
R
S
T
U
V
W
X
Y
Z
数字